

1 研究の位置付け

1-1 研究の目的

本研究の目的は、人間が地形を中心とする海岸景観要素の何を見ているかを明らかにすることである。景観操作の基本的前提となるべき景観体験原理の解明が主眼である。

1-2 研究の手法

本研究の分析材料は景観体験に関する集団表象である。これは、ひとつの社会集団に共有されかつ外在化された景観体験の「型」とも言うべきものである。たとえば、景観体験に関する「ことば」や風景としての「名所風景」がそれである。こうした集団表象は個人心理に対して外在すると同時に内面化し、個人の景観体験を暗然に拘束する。

本研究は目的達成のため、(1)「用」としての海岸景観、(2)鑑賞の対象としての海岸景観、および(3)景観体験の領域性の3つの考察を行う。ここで、(1)に対応する分析材料としての集団表象は「ことば」であり、主として民俗学資料より関連用語を収集し考察する。(2)に対応するのは「ことば」と「名所」である。前者は海景を詠じた平仮和歌から、後者は主として名所図会から収集する。(3)に対応するのは「ことば」であり、地形名称、とくに海入地形名称や地形境界名称などの地形領域に関する名称を収集し、その起源を擇り考察する。

2 「用」としての海岸景観

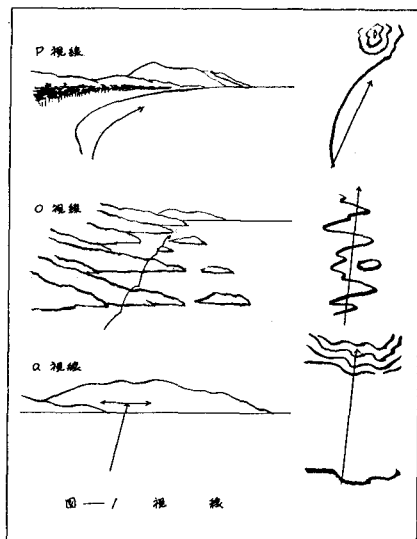
本節の眼目は、海に關する生産生活・交通行動と海岸景観とがどのように結びついているかを明らかにすることである。代表的景観体験として「アチ」・「ウオミ」・「ヒヨリミ」が民俗学関係資料より収集された。ここでは紙面の関係から「アチ」について説明する。

「アチ」は、海上にある船がその位置を把握するために陸山・島嶼の見え具合に注目する、積極的な視行為である。その景

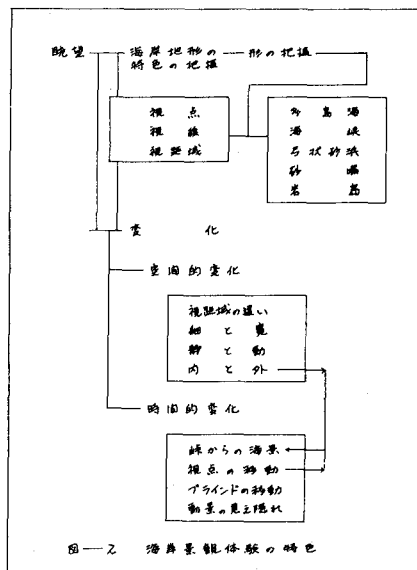
観体験上の特色は、船の移動に伴う陸景・島嶼景のシークエンシャルな変化の中で、その特徴的な一瞬をとらえ、これを記憶する点である。特徴的一瞬とは、2つ以上の地物が重なる直前など、変化の視覚的節目であることが多い。

3 鑑賞の対象としての海岸景観

まず、和歌分析から、見え隠れも基本にした景観体験の型が多く抽出された。これは、視点・視対象とその間の介在物の三者の、相対的位置関係の移動による視覚的变化に注目するものである。また、名所分析から、視点位置・視線および視距域といった景観体験構成の要素を導出した。これらによって海岸名所の風景鑑賞パターン



図—1 視 線



図—2 海岸景観体験の特色

が説明できる。たとえば、「縦線」は、河線に沿う、水陸を交互に横断する、および地物に行き当りものに符合せしめ(図-1)、それらが空間・時間的に組合されて海景名所が組織されている。

4 景観体験の領域性

地形名称の語源は地形と人間との関わり方の源を示す。本節では、領域性を内包する地形名称の中から「ウミ」と「ハマ」について述べる。「ウミ」(浦)は代表的滲入地形名称であるが、語源的には、外浦の「オモテ」に対する「裏」であり、「外」に対する「内」である。通村は多く浦奥に位置するからこの意味は確ける。また、「ハマ」(浜)は「ハママ」すなわち「端海」であり、陸海の境界を海側から意味付けしていることばである。陸上には山麓を意味する「端山」ということばがあって、これと対応する。これから、人間が地形を中心とする視空間にあって、もともと領域の意味付けを行っていたことがわかる。

5 海岸景観体験の特色(結論)

2~4節を中心とした考察を総合すると図-3のようになる。海岸景観体験の中心は眺望であり、これが海岸地形の特色の把握を助ける。こうした眺望体験は、視点の移動や視線の回転によって変化を伴い、それがまた眼前の地形空間の特色の把握を助けている。

地形を中心とする海岸景観の典型としては図-3に示すように、多島海景・海峡景・弓状砂浜景・砂嘴景および岩島対視景がある。これらは「視距域」の相異や異なる風景スケールの組合せ、動景の有無などの集約的変化、視点の移動に伴う視体験の変化など景観体験の時間的変化とあわせて体験される。

また、海岸景観体験を領域的に位置付けようならば(図-4)、まず、空間は「リウ」と「ウミ」に二分され、「リウ」は「ヤマ」となって立ち上がる。それぞれの境界領域として「ハマ」・「ハママ」がある。海上の「オキ」に対し陸上の「オウヤマ」があり、これを海側に振るための「トウゲ」がある。一方、「オキ」は「アチ」の境界として「ヤマヤシ」がある。「トウゲ」からの海景眺望を「シオミ」という。「ヒヨリミ」・「ウオミ」は海辺の山「ウラヤマ」で行われる。さらに、「ハマ」では、より線的な水陸境界名「ヤギヤ」に沿う「ヤギヤツタイ」の視線がある。このように、海陸とその境界部にそれぞれ集約的特色に与えられた独特の景観体験が存在しているものである。

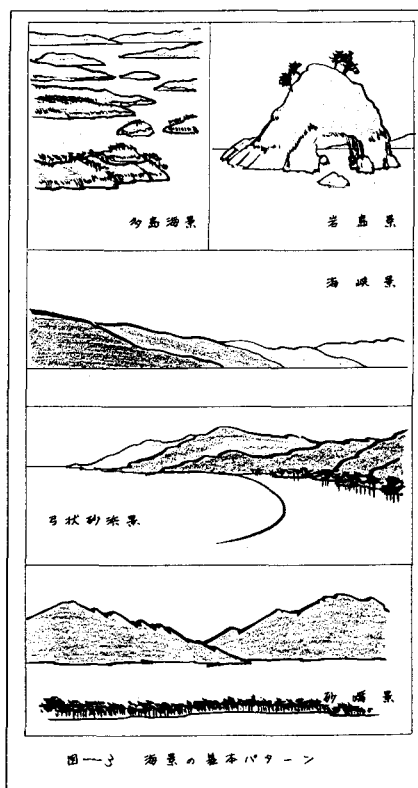


図-3 海岸の基本パターン

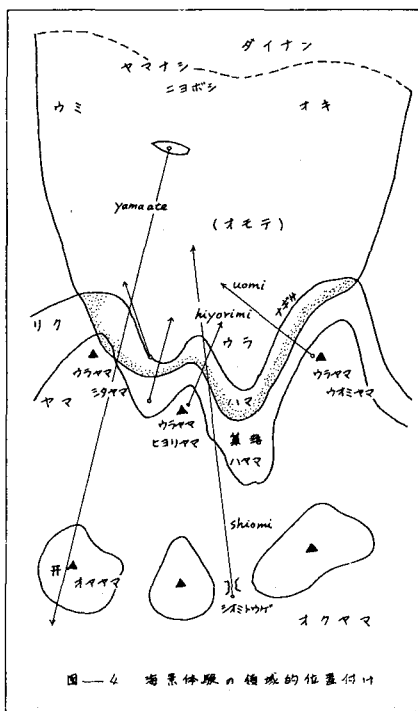


図-4 海岸体験の領域的位置付け